

2019年8月5日

報道関係各位

GMO アドマーケティング株式会社

GMO アドマーケティング、 AI を活用した独自の広告審査システムを開発し、「GMO SSP」に搭載 ～媒体社のブランド保護の取組を支援～

GMO インターネットグループの GMO アドパートナーズ株式会社の連結会社で、アドテクノロジー事業、メディアセールス事業を展開する GMO アドマーケティング株式会社（代表取締役社長：渡部 謙太郎以下、GMO アドマーケティング）は、AI の技術を取り入れた独自の広告審査システム（以下、AI 搭載広告審査システム）を開発し、本日 2019 年 8 月 5 日（月）より媒体社向け広告配信プラットフォーム「GMO SSP」に実装いたしました。

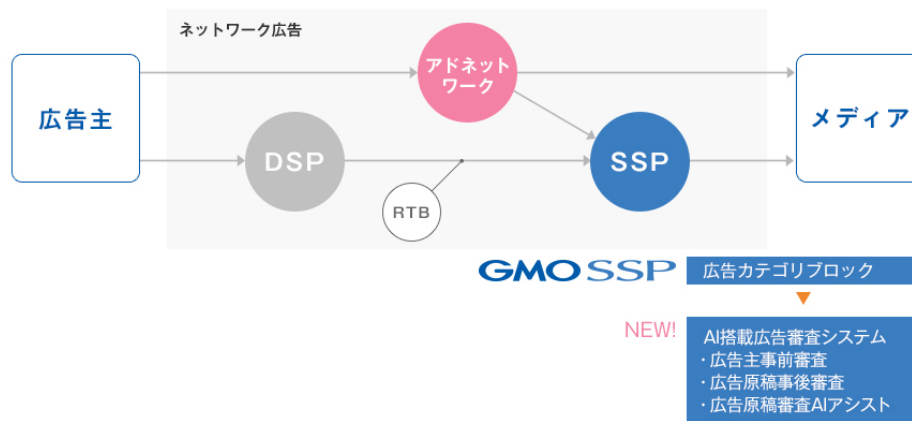
これにより「GMO SSP」をご利用の媒体社は、審査にかかる負担を大幅に削減できるうえ、広告ごとにより精密な広告審査が可能となります。

GMO AD MARKETING

GMO SSP

AI 搭載 広告審査システム

AkaNe by GMO 広告原稿全件審査



【背景】

ネットワーク広告とは、複数の Web メディアにまとめて広告配信するアドネットワークや RTB^(※1) と呼ばれる仕組みで配信されてくる広告を指し、Web メディアを運営する媒体社にとっては、ネットワーク広告を自社の Web メディアの広告枠に掲載することで収益を得ることができます。

こうしたメリットがある一方、配信されてくる広告を媒体社側で完全にコントロールすることができないことから、運営する Web メディアにはふさわしくない広告が掲載され、ユーザーに不快感を与えたり、Web メディアの世界観を損ねたりといった、ブランドを毀損するリスクをはらんでいます。近年、インターネット広告市場の伸長に伴い、こうしたネットワーク広告のリスクへの対策が急務となっています。

このようなネットワーク広告の課題を踏まえ、GMO アドマーケティングでは、運営するアドネットワーク「AkaNe by GMO」においては媒体社のご希望に応じて広告原稿の全件を審査できる機能をオプションで

提供しています。また、媒体社向け広告配信プラットフォームの「GMO SSP」においても、DSP^(※2)を通じて配信される広告を「金融」「ヘルスケア」といった広告カテゴリ単位で審査し、配信許可もしくはブロックすることができる機能を標準で提供しています。しかし、DSP 広告の広告カテゴリ審査では、原稿ごとの細やかな審査ができず、媒体社が自社で広告原稿審査を行うにしても、配信される広告原稿の量が膨大なため、媒体社の審査の負荷が高いという課題がありました。これにより、ネットワーク広告によるブランド毀損リスクを重視する媒体社にとっては、収益性が高いとはいえ DSP 広告を配信することが難しい状況でした。

そこで GMO アドマーケティングは、広告審査の負荷の軽減と、DSP 広告に対するより細やかな審査を可能とすることを目的として、AI 技術を取り入れた独自の広告審査システムを開発し、媒体社向けの広告配信プラットフォーム「GMO SSP」に実装いたしました。これにより「GMO SSP」は、Web メディアへ収益性の高い RTB 広告を配信するだけでなく、Web メディアにとって適切でない広告をブロックし、ブランド毀損のリスクを防ぐことも可能となります。



(※1) 広告の表示が発生するたびに、入札を行い、最も高い金額をつけた広告主の広告を表示する方式。

(※2) DSP とは、Demand Side Platform の略で、広告主が様々なメディアの広告枠を自動的に買い付けるために用いる広告配信プラットフォームのこと。

【独自の AI 搭載広告審査システムの概要】

GMO アドマーケティングは、独自に開発した AI 搭載広告審査システムを「GMO SSP」に実装し、以下 3 つの新機能を提供開始しました。

1. AI を活用した広告審査アシスト機能

あらかじめ掲載不可となりやすい広告を AI に学習させることで、広告原稿の審査効率を高める機能です。これまで膨大な量の広告原稿を一つ一つ目視で確認していた媒体社の広告審査担当者は、本機能により配信不可となる可能性が高いと判定された広告原稿を除いて審査できるため、審査業務の負担軽減が期待できます。

さらに今後は自動審査が可能な広告在庫を拡充するとともに、各媒体社による審査結果を個別に AI に学習させることで、媒体社それぞれの審査基準に沿った自動審査ができる機能を追加開発予定です。

2. DSP 広告の配信後審査機能

収益性の高い DSP 広告を広告コンテンツ単位で掲載後に審査し、不適切と判断された場合に広告を停止する機能です。従来の広告カテゴリ（「金融」「ヘルスケア」など）単位でのブロックでは、本来であれば掲載可能な広告もブロックされてしまうことがあり、収益機会の逸失が発生していました。本機能により、広告コンテンツ単位で審査を行うため、収益機会の最大化とメディアのブランド保護の両立が可能となります。

3.DSP 広告の事前審査配信機能

DSP 広告の中で収益貢献の見込みが高く、かつ高品質の広告を掲載できるよう、あらかじめ収益性の高い広告を出稿する広告主に対して、事前に審査を行う機能です。

DSP 広告には、多種多様かつ膨大な数の広告主から広告が配信されてくるといった性質があります。そのため、広告掲載において事前審査を必須とする Web メディアにおいては、広告の事前審査が困難なことから積極的な配信が難しいという課題がありました。本機能により、広告品質の懸念から DSP 広告を積極的に配信できていなかった媒体社も RTB 広告の配信が可能になります。

【今後の展開】

GMO アドマーケティングは、「GMO SSP」に実装した独自の広告審査システムの機能拡充・改善を引き続き実施し、媒体社に対して、より収益性の高い広告の提供に努めてまいります。ひいては、メディアのユーザービリティ・ブランドと高い収益性を両立させる広告配信プラットフォームを目指してまいります。

【GMO アドマーケティングについて】

GMO アドマーケティングは、アドテクノロジー事業・メディアセールス事業を主力事業とする、GMO アドパートナーズ株式会社のグループ会社です。インフィード広告に特化したアドネットワーク・SSP・レコメンドウィジェットなどの自社アドテクノロジー商品の提供とあわせて媒体社様と企画型広告（タイアップ広告等）の商品開発・販売支援を行っており、技術とクリエイティブにより媒体社様と広告主様の収益を最大化することをミッションとしています。

【参考 URL】

- ・「GMO SSP」 URL : <https://gmosp.jp/>
- ・「Akane byGMO」 URL : <https://akane-ad.com/>

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO アドパートナーズ株式会社 経営企画部
TEL : 03-5457-0916 FAX : 03-5728-7701
E-mail : release@ml.gmo-ap.jp

- GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 石井
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO アドマーケティング株式会社 広告事業本部 長谷川
TEL : 03-5457-0909 FAX : 03-5457-0910
E-mail : otoiawase@ml.gmo-am.jp

【GMO アドマーケティング株式会社】 (URL : <https://www.gmo-am.jp/>)

会社名	GMO アドマーケティング株式会社
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 16 番 3 号 渋谷センタープレイス 6 階
代表者	代表取締役社長 渡部 謙太郎
事業内容	■アドテクノロジー事業 ■メディアセールス事業
資本金	1 億円

【GMO アドパートナーズ株式会社】 (URL : <https://www.gmo-ap.jp/>)

会社名	GMO アドパートナーズ株式会社 (JASDAQ 証券コード : 4784)
所在地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 16 番 3 号 渋谷センタープレイス 4 階
代表者	代表取締役社長 橋口 誠
事業内容	■メディア・アドテク事業 ■エージェンシー事業
資本金	13 億 156 万 8,500 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■ インターネットインフラ事業 ■ インターネット広告・メディア事業 ■ インターネット金融事業 ■ 仮想通貨事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2019 GMO AD Marketing, Inc. All Rights Reserved.